

人権だより

2018. 2
北宇和高人権委員会

1月18日に3年生の人権・同和教育ホームルーム活動がありました。「**だれもが幸せな社会を実現させよう『差別をなくす生き方』ーみんなが幸せになるためにー**」のテーマのもとで、3年間の総まとめになる活動が実施されました。人権委員の感想を紹介します。

3-1



身近で起こる差別を例にしっかり考えることができた。もっと人の気持ちを考えて生活していきたい。

3-2



公正なことと不公正なことを正しく判断するのは難しいと思うけれど、それをしっかり見分ける力を身に付けることが大事だ。

3-3



最後のホームルーム活動は、3年間の復習をした。今まで習ってきたことを生かして生活していきたい。

1月11日は1年生全員が「人権・同和教育出前講座（デートDV）」を受講しました。自分のこととして考え、楽しく真剣に学びました。将来「デートDV」の被害者になったら、『**だれかに相談する**（69人）』『**交際をやめる**（33人）』という意見が大半を占めています。

1年生全員



- 自分で自分を守るような人になりたい。
- 相手の気持ちを考えて対等ということが大事だと思った。
- ☆ 誰かに相談したり、嫌なことは嫌だといえるようにしたい。

人権・同和教育について考えてみて



みんなにとっての人権学習って何？

人権・同和教育の正しい知識を
しっかり身に付けること



私たちの周りには偏見や、悪意のある
情報もあるもんね



何でもすぐ信じないで、批判的に
みていくことも大事



情報を正しく判断していく力が必要だね

差別にあったときどうしたらいいか
も考えたりしたね



仲間づくりが大切だ



就職差別や結婚差別の学習は
特に身近な問題に感じたよ



みんなでしあわせになるための学習を
さらに深めていきましょう